

長野県立歴史館中長期目標(2020-2029年)に基づく
令和6年度事業に係る実施状況・自己評価 及び 令和7年度事業に係る実施計画及び目標設定

評価の区分
A (a) 目標を上回る成果をあげた
B (b) ほぼ目標は達成した
C (c) 目標には及ばなかった
D (d) 目標には遠く及ばなかった

【基本目標 1】 長野県民の歴史遺産を未来に継承するための取組を進めます
[取組1-1] 考古資料・歴史的価値を有する文書・その他歴史資料等を収集・整理・保存し、調査研究を行います

	基本目標に対する取組	担当部・課	令和6年度 主な事業・取組 / 目標値	令和6年度 達成値	自己評価	R6反省、R7改善点・取組方針等	令和7年度 主な事業・取組 / 目標値	《参考》利用者の声（R6アンケート等）
史資料の収集・整理	○長野県の歴史を明らかにするために必要な史資料を収集・整理します。 ○当館が公文書館の機能を有し、公文書管理条例が制定されることから、歴史公文書等の収集を適切に行うよう取り組みを強化します。	文献	○文献史料の収集・整理 ・特定歴史公文書の受け入れ ・特定歴史公文書、県報、行政資料、新規収蔵文書の整理、登録、配架（2,400点） ・県報、行政資料の公開（年間約300冊）	・特定歴史公文書の受け入れ 3,165点、行政資料174冊、県報105件、近現代資料9件収集 ・整理した特定歴史公文書2,650冊、行政資料134冊 ・県報6件（117冊）、行政資料212冊を公開 ・2024年度受け入れ分の公開・非公開判定会議実施（9月25日） ・特定歴史公文書公開（2022年度受け入れ分）2,371冊 ・2021年度受け入れ分公開非公開判定会議実施（1月23日） ・特定歴史公文書公開（2022年度受け入れ分）2,371冊 ・移管外公文書（2021・24年度分）公開（514冊）	a	・年々受け入れ件数が増えているため、効率的整理を進める	○文献史料の収集・整理 ・特定歴史公文書の受け入れ ・特定歴史公文書、県報、行政資料、新規収蔵文書の整理、登録、配架（3,100冊） ・県報、行政資料の公開（年間約340冊）	・整理・公開は1年以内に実施できるように進めること（公文書審議会）
		文献	○現代史料 未整理近現代史料・県報・県史写真版資料等の整理（3,000点） 戦後史の聞き取りの実施（3人）	・未整理現代史料等の整理 G近現代史資料1,084点、県史写真版資料の再整理（19,918点）と公開 長野県史写真フィルム（35mm）の洗浄、複製製作（継続事業） 諏訪468本 ・戦後史聞き取り調査1人（2回） ・企業資料調査1件（1回）	b		○現代史料 未整理近現代史料・県報・県史写真版資料等の整理（3,000点） 戦後史の聞き取りの実施（3人）	・セブンイレブンジャパン関係の聞き取りなどよかった。
		文献	○古文書 新規史料の収集 未整理史料の整理を進める（年度内10,000点）	・新規史料の収集 長念寺文書など12件5,553点 ・未整理史料の整理 6,901点（ボランティアによる整理含む） ・クラウドファンディングによる外部資金導入を図り真田昌幸書状を購入した	c	B	○古文書 新規史料の収集 未整理史料の整理を進める（年度内10,000点）	・ボランティアの活動状況・人事異動などの影響で整理数が減少（職員）。 ・県内の公文書館や教育委員会等文化財担当者とのネットワークで資料収集を進めてほしい（講習会参加者）
		考古	○考古資料の収集・整理 ・所蔵考古資料の整理と収納 寄贈資料については大部分が未整理であることから整理の基礎となる遺物台帳作成の必要が急務であり、今年度から優先して実施する。（年度内60箱） ・県宝追加指定・重要文化財指定に向けた屋代遺跡群出土木製品の整理 ○写真資料等の保存（R7年度終了予定） 報告書掲載写真フィルムのデジタル化 3000枚	・寄贈資料の遺物整理・台帳整備 62箱 ・R6国庫補助事業。写真フィルム3000枚、木製品デジタル化300点を計画通り完了。 ・発掘調査報告書掲載の写真についてすべてデジタル化済。 ・県宝追加指定・重要文化財指定に向けた屋代遺跡群出土木製品の整理 ・埋文センターから移管（160370箱）	a	・国補事業として、木製品の台帳整理、収納及び保存処理前・後のデジタル写真撮影を計画。資料のデジタル化を推進していく。	○考古資料の収集・整理 ・所蔵考古資料の整理（寄贈資料・年度内50箱整理） ○県宝追加指定・重要文化財指定に向けた屋代遺跡群出土木製品の整理（文化庁調査官現地調査予定）	
史資料の保存	収集・整理した史資料に対し、必要に応じて適切な保存処理・修復を行い、適切な環境で保存します。 また史資料の滅失、県外への流出・散逸を防ぐため必要な保存措置を講じ、重要な流出資料については購入するなど、特別の配慮を払います。	考古	○考古資料の保存処理 ・所蔵木製品の保存処理（R21年度終了とする処理計画） PEG及びトレハロースを使用した保存処理（処理開始1090点、処理完了154点） ・所蔵金属器、骨角製品等の保存処理 収蔵金属器の劣化状況に応じた処理・再処理を推進（60点） ・長野県埋蔵文化財センターの応急的保存処理、市町村の保存処理に対する技術指導・支援	・所蔵木製品の保存処理（PEG処理・トレハロース処理）：処理点数1061点 ・金属器保存処理 喫緊の課題であった脱酸素剤封入を優先して実施。他に錆取り・接着済20点。 ・長野県埋蔵文化財センターの応急的保存処理、市町村の保存処理に対する技術指導・支援 16件	a	A ・引き続き国庫補助事業を活用。	○考古資料の保存処理 ・所蔵木製品の保存処理（R21年度終了とする処理計画） PEG及びトレハロースを使用した保存処理（処理点数1050点） ・所蔵金属器、骨角製品等の保存処理 収蔵金属器の劣化状況に応じた処理・再処理を推進（50点） ・長野県埋蔵文化財センターの応急的保存処理、市町村の保存処理に対する技術指導・支援	
史資料の調査研究	○長野県の歴史を明らかにするために、収集・整理した史資料に関する調査研究を行い、史資料を県民のかけがえのない文化財・歴史遺産として位置づけ、その歴史的価値を明らかにします。 ○展示や普及活動を円滑に進めるためにも、館蔵史資料以外の県内外文化財の調査研究を行います。 ○後世に伝えるために史資料の情報収集、所在や現状把握に務めます。	考古	○考古資料の科学分析 ・所蔵資料の蛍光X線分析・X線透過観察等の科学分析を行い、研究成果を蓄積。市町村等からの分析依頼に対し可能な範囲で対応	・市町村等からの金属製品のX線透過観察・赤外線観察の依頼に関しては、調整の上で100%対応（4件）	a	A より魅力的な企画展を目指す	○考古資料の科学分析 ・所蔵資料の蛍光X線分析・X線透過観察等の科学分析を行い、研究成果を蓄積。市町村等からの分析依頼に対し可能な範囲で対応	
		総情	○R7年度企画展の資料調査 ・企画展「安曇野展」「木製祭祀具展」「小菅展」（仮称）の実施設計の作成 ・上記企画展の資料調査の実施 ・収集史料を位置づけ公開する企画展の立案	○R7年度企画展の資料調査 ・企画展「安曇野展」14回、「小菅展」2回、の資料調査を実施し、収蔵品展を含む実施設計を予定通り作成した ・収集史料を位置づけ公開する企画展としてR9年春季展（子どもへの贈り物）、R10 春季展（戦国）を立案した。	a		○R8年度企画展の資料調査 ・企画展「戸隠展」「県政150周年」「官衙展」（仮称）の実施設計の作成 ・上記企画展の資料調査の実施 ・収集史料を位置づけ公開する企画展の立案	
		学芸	○職員の調査研究の推進 ・学芸研究会等における調査研究発表の実施 ・研究雑誌、研究紀要等への研究論文の掲載 10論文以上 ・館内における「時代別研究会」の充実 各時代とも年間6回以上の開催	・学芸研究会9回実施、15人発表 ・研究紀要第31号発刊、10論文掲載 ・「時代別研究会」をすべての時代で6回以上開催	a		○職員の調査研究の推進 ・学芸研究会等における調査研究発表の実施 ・研究雑誌、研究紀要等への研究論文の掲載 10論文以上 ・館内における「時代別研究会」の充実 各時代とも年間6回以上の開催	3年に一度は研究紀要に論文を掲載することを目指す（執筆内規）

長野県立歴史館中長期目標(2020-2029年)に基づく
令和6年度事業に係る実施状況・自己評価 及び 令和7年度事業に係る実施計画及び目標設定

評価の区分
A (a) 目標を上回る成果をあげた
B (b) ほぼ目標は達成した
C (c) 目標には及ばなかった
D (d) 目標には遠く及ばなかった

【取組1-2】 史資料の保護(保存・活用)に取り組むとともに、保護思想を啓発します

基本目標に対する取組			令和6年度 主な事業・取組 / 目標値	令和6年度 達成値	自己評価	R6反省、R7改善点・取組方針等	令和7年度 主な事業・取組 / 目標値	《参考》利用者の声（R5アンケート等）	
（文化財の保護・活用）	〇市町村、県、国の指定文化財等について、県立の文化財公開機関としての役割を果たします。		〇県立の文化財公開機関として、企画展等において指定文化財を展示・公開 ・市町村、県、国の指定文化財の展示機会を設ける ・当館所蔵文化財借用依頼への対応 ・史資料の保存に関する調査研究を進めその成果を公開 ・災害による被災文化財レスキューに対応 ・県や市町村の文化財保護審議議会では歴史館職員の知見を活かし、的確な助言を行う	・指定文化財の公開事例：2024年所蔵品展「至宝の名品－近現代－」で県宝12点、夏季展「疾風怒濤木曾義仲」で国宝2点[東大寺文書]、重文3点[市河文書 鳥羽院庁下文]、秋季展「描かれた川中島合戦」で重文2点、市指定文化財、「佐久間象山遺墨展」で《紙本水墨山水図》《桜賦》（いずれも長野市指定文化財）、令和7年所蔵品展で重文9点、県宝1点。 ・借用依頼に対応 ・トレハロースによる木器保存処理の可能性を探った ・レスキューの要請なし ・市町村の文化財保護審議議会での的確な助言を行った。	a	A	公開承認施設として指定文化財の公開を進める。	〇県立の文化財公開機関として、企画展等において指定文化財を展示・公開 ・市町村、県、国の指定文化財の展示機会を設ける ・当館所蔵文化財借用依頼への対応 ・史資料の保存に関する調査研究を進めその成果を公開 ・災害による被災文化財レスキューに対応 ・県や市町村の文化財保護審議議会では歴史館職員の知見を活かし、的確な助言を行う	・松平氏の肖像画の特別展示が良かった。（R6.4月常設） ・多くの資料があり先人の苦勞に感謝します。 ・照明が絞られていて収蔵品のことをとても大事にしているのだと思いました。 ・歴史的な資料や文化が展示されていることがとても貴重なので、これからもぜひ多くの方に注目して頂きたい。 ・素晴らしい施設で長野県の誇りです。
		文献	〇文献史料保存活用講習会の開催 ・4回開催 参加者延べ120人	・4回開催 参加者数136人 ・資料修復工房見学研修会1回開催 参加者数12人	a		〇文献史料保存活用講習会の開催 ・3回開催 参加者延べ90人	・第4回講習会は、非常に参考になったと好評だった。 ・南信地域の会員の参加が少ないことから講習会（実習）の開催地について中南信で行えないか。	
		考古	〇県立博物館・文書館・文化財保存修復機関・研究機関として市町村・県内博物館等への支援、助言を行います。	〇考古資料保存技術講習会の開催 ・2回程度開催	・2回開催 参加者数29人（21団体）	a	A	〇考古資料保存技術講習会の開催 ・2回程度開催	同じ内容で2回に実施日を分けたことで都合がつけやすく参加しやすくなった。 経験の浅い若手担当者、考古学を専攻しない担当者を対象としたが、継続的なテーマでの開催を望む声が多かった。
史料保存に関する実講習会、	〇県立博物館・文書館・文化財保存修復機関・研究機関として市町村・県内博物館等への支援、助言を行います。	総情	〇防災・災害の対応 ・事例研究や他県の体制・対応を参考に研究を推進	・事例を研究し、館内で職員研修を実施。	a		〇防災・災害の対応 ・事例研究や他県の体制・対応を参考に研究を推進	・県史料協の防災費積み立てについて、運用の仕方など理解が進んだ。	
		考古	〇資料の保存等に関する市町村への協力・支援 ・依頼事項の80%以上 〇考古資料の保護等に関わる市町村への協力・支援 ・遺跡や遺物の保護、発掘調査等を学術面から支援（依頼に応じて対応） ・考古資料（遺跡・遺物）に関わる研究や研修（講演等含む）に対し協力・支援（依頼に応じて対応）	・資料の保存等に関する依頼事項に100%対応 ・市町村等からの考古資料保護等に関する相談に対応・支援16件（100%） ・考古資料に関わる講演などを行った	a	A	〇資料の保護・保存等に関する市町村への協力・支援 ・調整の上依頼事項の100%以上 〇考古資料の保護・保存等に関わる市町村への協力・支援 ・遺跡や遺物の保護、発掘調査等を学術面から支援（依頼に応じて対応） ・考古資料（遺跡・遺物）に関わる研究や研修（講演等含む）に対し協力・支援（依頼に応じて対応）		
		総情	〇資料の保存等に関する市町村への協力・支援 ・依頼事項の80%以上 〇考古資料の保護等に関わる市町村への協力・支援 ・遺跡や遺物の保護、発掘調査等を学術面から支援（依頼に応じて対応） ・考古資料（遺跡・遺物）に関わる研究や研修（講演等含む）に対し協力・支援（依頼に応じて対応）	・資料の保存等に関する依頼事項に100%対応 ・市町村等からの考古資料保護等に関する相談に対応・支援16件（100%） ・考古資料に関わる講演などを行った	a	A	〇資料の保護・保存等に関する市町村への協力・支援 ・調整の上依頼事項の100%以上 〇考古資料の保護・保存等に関わる市町村への協力・支援 ・遺跡や遺物の保護、発掘調査等を学術面から支援（依頼に応じて対応） ・考古資料（遺跡・遺物）に関わる研究や研修（講演等含む）に対し協力・支援（依頼に応じて対応）		
市町村への支援	〇考古資料の保護、発掘調査・研究、研修などに関した支援を行います。	総情	〇資料の保存等に関する市町村への協力・支援 ・依頼事項の80%以上 〇考古資料の保護等に関わる市町村への協力・支援 ・遺跡や遺物の保護、発掘調査等を学術面から支援（依頼に応じて対応） ・考古資料（遺跡・遺物）に関わる研究や研修（講演等含む）に対し協力・支援（依頼に応じて対応）	・資料の保存等に関する依頼事項に100%対応 ・市町村等からの考古資料保護等に関する相談に対応・支援16件（100%） ・考古資料に関わる講演などを行った	a	A	〇資料の保護・保存等に関する市町村への協力・支援 ・調整の上依頼事項の100%以上 〇考古資料の保護・保存等に関わる市町村への協力・支援 ・遺跡や遺物の保護、発掘調査等を学術面から支援（依頼に応じて対応） ・考古資料（遺跡・遺物）に関わる研究や研修（講演等含む）に対し協力・支援（依頼に応じて対応）		
市町村への支援	〇考古資料の保護、発掘調査・研究、研修などに関した支援を行います。	考古	〇資料の保存等に関する市町村への協力・支援 ・依頼事項の80%以上 〇考古資料の保護等に関わる市町村への協力・支援 ・遺跡や遺物の保護、発掘調査等を学術面から支援（依頼に応じて対応） ・考古資料（遺跡・遺物）に関わる研究や研修（講演等含む）に対し協力・支援（依頼に応じて対応）	・資料の保存等に関する依頼事項に100%対応 ・市町村等からの考古資料保護等に関する相談に対応・支援16件（100%） ・考古資料に関わる講演などを行った	a	A	〇資料の保護・保存等に関する市町村への協力・支援 ・調整の上依頼事項の100%以上 〇考古資料の保護・保存等に関わる市町村への協力・支援 ・遺跡や遺物の保護、発掘調査等を学術面から支援（依頼に応じて対応） ・考古資料（遺跡・遺物）に関わる研究や研修（講演等含む）に対し協力・支援（依頼に応じて対応）		
市町村への支援	〇考古資料の保護、発掘調査・研究、研修などに関した支援を行います。	総情	〇資料の保存等に関する市町村への協力・支援 ・依頼事項の80%以上 〇考古資料の保護等に関わる市町村への協力・支援 ・遺跡や遺物の保護、発掘調査等を学術面から支援（依頼に応じて対応） ・考古資料（遺跡・遺物）に関わる研究や研修（講演等含む）に対し協力・支援（依頼に応じて対応）	・資料の保存等に関する依頼事項に100%対応 ・市町村等からの考古資料保護等に関する相談に対応・支援16件（100%） ・考古資料に関わる講演などを行った	a	A	〇資料の保護・保存等に関する市町村への協力・支援 ・調整の上依頼事項の100%以上 〇考古資料の保護・保存等に関わる市町村への協力・支援 ・遺跡や遺物の保護、発掘調査等を学術面から支援（依頼に応じて対応） ・考古資料（遺跡・遺物）に関わる研究や研修（講演等含む）に対し協力・支援（依頼に応じて対応）		
市町村への支援	〇考古資料の保護、発掘調査・研究、研修などに関した支援を行います。	考古	〇資料の保存等に関する市町村への協力・支援 ・依頼事項の80%以上 〇考古資料の保護等に関わる市町村への協力・支援 ・遺跡や遺物の保護、発掘調査等を学術面から支援（依頼に応じて対応） ・考古資料（遺跡・遺物）に関わる研究や研修（講演等含む）に対し協力・支援（依頼に応じて対応）	・資料の保存等に関する依頼事項に100%対応 ・市町村等からの考古資料保護等に関する相談に対応・支援16件（100%） ・考古資料に関わる講演などを行った	a	A	〇資料の保護・保存等に関する市町村への協力・支援 ・調整の上依頼事項の100%以上 〇考古資料の保護・保存等に関わる市町村への協力・支援 ・遺跡や遺物の保護、発掘調査等を学術面から支援（依頼に応じて対応） ・考古資料（遺跡・遺物）に関わる研究や研修（講演等含む）に対し協力・支援（依頼に応じて対応）		
市町村への支援	〇考古資料の保護、発掘調査・研究、研修などに関した支援を行います。	総情	〇資料の保存等に関する市町村への協力・支援 ・依頼事項の80%以上 〇考古資料の保護等に関わる市町村への協力・支援 ・遺跡や遺物の保護、発掘調査等を学術面から支援（依頼に応じて対応） ・考古資料（遺跡・遺物）に関わる研究や研修（講演等含む）に対し協力・支援（依頼に応じて対応）	・資料の保存等に関する依頼事項に100%対応 ・市町村等からの考古資料保護等に関する相談に対応・支援16件（100%） ・考古資料に関わる講演などを行った	a	A	〇資料の保護・保存等に関する市町村への協力・支援 ・調整の上依頼事項の100%以上 〇考古資料の保護・保存等に関わる市町村への協力・支援 ・遺跡や遺物の保護、発掘調査等を学術面から支援（依頼に応じて対応） ・考古資料（遺跡・遺物）に関わる研究や研修（講演等含む）に対し協力・支援（依頼に応じて対応）		
市町村への支援	〇考古資料の保護、発掘調査・研究、研修などに関した支援を行います。	考古	〇資料の保存等に関する市町村への協力・支援 ・依頼事項の80%以上 〇考古資料の保護等に関わる市町村への協力・支援 ・遺跡や遺物の保護、発掘調査等を学術面から支援（依頼に応じて対応） ・考古資料（遺跡・遺物）に関わる研究や研修（講演等含む）に対し協力・支援（依頼に応じて対応）	・資料の保存等に関する依頼事項に100%対応 ・市町村等からの考古資料保護等に関する相談に対応・支援16件（100%） ・考古資料に関わる講演などを行った	a	A	〇資料の保護・保存等に関する市町村への協力・支援 ・調整の上依頼事項の100%以上 〇考古資料の保護・保存等に関わる市町村への協力・支援 ・遺跡や遺物の保護、発掘調査等を学術面から支援（依頼に応じて対応） ・考古資料（遺跡・遺物）に関わる研究や研修（講演等含む）に対し協力・支援（依頼に応じて対応）		
市町村への支援	〇考古資料の保護、発掘調査・研究、研修などに関した支援を行います。	総情	〇資料の保存等に関する市町村への協力・支援 ・依頼事項の80%以上 〇考古資料の保護等に関わる市町村への協力・支援 ・遺跡や遺物の保護、発掘調査等を学術面から支援（依頼に応じて対応） ・考古資料（遺跡・遺物）に関わる研究や研修（講演等含む）に対し協力・支援（依頼に応じて対応）	・資料の保存等に関する依頼事項に100%対応 ・市町村等からの考古資料保護等に関する相談に対応・支援16件（100%） ・考古資料に関わる講演などを行った	a	A	〇資料の保護・保存等に関する市町村への協力・支援 ・調整の上依頼事項の100%以上 〇考古資料の保護・保存等に関わる市町村への協力・支援 ・遺跡や遺物の保護、発掘調査等を学術面から支援（依頼に応じて対応） ・考古資料（遺跡・遺物）に関わる研究や研修（講演等含む）に対し協力・支援（依頼に応じて対応）		
市町村への支援	〇考古資料の保護、発掘調査・研究、研修などに関した支援を行います。	考古	〇資料の保存等に関する市町村への協力・支援 ・依頼事項の80%以上 〇考古資料の保護等に関わる市町村への協力・支援 ・遺跡や遺物の保護、発掘調査等を学術面から支援（依頼に応じて対応） ・考古資料（遺跡・遺物）に関わる研究や研修（講演等含む）に対し協力・支援（依頼に応じて対応）	・資料の保存等に関する依頼事項に100%対応 ・市町村等からの考古資料保護等に関する相談に対応・支援16件（100%） ・考古資料に関わる講演などを行った	a	A	〇資料の保護・保存等に関する市町村への協力・支援 ・調整の上依頼事項の100%以上 〇考古資料の保護・保存等に関わる市町村への協力・支援 ・遺跡や遺物の保護、発掘調査等を学術面から支援（依頼に応じて対応） ・考古資料（遺跡・遺物）に関わる研究や研修（講演等含む）に対し協力・支援（依頼に応じて対応）		
市町村への支援	〇考古資料の保護、発掘調査・研究、研修などに関した支援を行います。	総情	〇資料の保存等に関する市町村への協力・支援 ・依頼事項の80%以上 〇考古資料の保護等に関わる市町村への協力・支援 ・遺跡や遺物の保護、発掘調査等を学術面から支援（依頼に応じて対応） ・考古資料（遺跡・遺物）に関わる研究や研修（講演等含む）に対し協力・支援（依頼に応じて対応）	・資料の保存等に関する依頼事項に100%対応 ・市町村等からの考古資料保護等に関する相談に対応・支援16件（100%） ・考古資料に関わる講演などを行った	a	A	〇資料の保護・保存等に関する市町村への協力・支援 ・調整の上依頼事項の100%以上 〇考古資料の保護・保存等に関わる市町村への協力・支援 ・遺跡や遺物の保護、発掘調査等を学術面から支援（依頼に応じて対応） ・考古資料（遺跡・遺物）に関わる研究や研修（講演等含む）に対し協力・支援（依頼に応じて対応）		
市町村への支援	〇考古資料の保護、発掘調査・研究、研修などに関した支援を行います。	考古	〇資料の保存等に関する市町村への協力・支援 ・依頼事項の80%以上 〇考古資料の保護等に関わる市町村への協力・支援 ・遺跡や遺物の保護、発掘調査等を学術面から支援（依頼に応じて対応） ・考古資料（遺跡・遺物）に関わる研究や研修（講演等含む）に対し協力・支援（依頼に応じて対応）	・資料の保存等に関する依頼事項に100%対応 ・市町村等からの考古資料保護等に関する相談に対応・支援16件（100%） ・考古資料に関わる講演などを行った	a	A	〇資料の保護・保存等に関する市町村への協力・支援 ・調整の上依頼事項の100%以上 〇考古資料の保護・保存等に関わる市町村への協力・支援 ・遺跡や遺物の保護、発掘調査等を学術面から支援（依頼に応じて対応） ・考古資料（遺跡・遺物）に関わる研究や研修（講演等含む）に対し協力・支援（依頼に応じて対応）		
市町村への支援	〇考古資料の保護、発掘調査・研究、研修などに関した支援を行います。	総情	〇資料の保存等に関する市町村への協力・支援 ・依頼事項の80%以上 〇考古資料の保護等に関わる市町村への協力・支援 ・遺跡や遺物の保護、発掘調査等を学術面から支援（依頼に応じて対応） ・考古資料（遺跡・遺物）に関わる研究や研修（講演等含む）に対し協力・支援（依頼に応じて対応）	・資料の保存等に関する依頼事項に100%対応 ・市町村等からの考古資料保護等に関する相談に対応・支援16件（100%） ・考古資料に関わる講演などを行った	a	A	〇資料の保護・保存等に関する市町村への協力・支援 ・調整の上依頼事項の100%以上 〇考古資料の保護・保存等に関わる市町村への協力・支援 ・遺跡や遺物の保護、発掘調査等を学術面から支援（依頼に応じて対応） ・考古資料（遺跡・遺物）に関わる研究や研修（講演等含む）に対し協力・支援（依頼に応じて対応）		
市町村への支援	〇考古資料の保護、発掘調査・研究、研修などに関した支援を行います。	考古	〇資料の保存等に関する市町村への協力・支援 ・依頼事項の80%以上 〇考古資料の保護等に関わる市町村への協力・支援 ・遺跡や遺物の保護、発掘調査等を学術面から支援（依頼に応じて対応） ・考古資料（遺跡・遺物）に関わる研究や研修（講演等含む）に対し協力・支援（依頼に応じて対応）	・資料の保存等に関する依頼事項に100%対応 ・市町村等からの考古資料保護等に関する相談に対応・支援16件（100%） ・考古資料に関わる講演などを行った	a	A	〇資料の保護・保存等に関する市町村への協力・支援 ・調整の上依頼事項の100%以上 〇考古資料の保護・保存等に関わる市町村への協力・支援 ・遺跡や遺物の保護、発掘調査等を学術面から支援（依頼に応じて対応） ・考古資料（遺跡・遺物）に関わる研究や研修（講演等含む）に対し協力・支援（依頼に応じて対応）		
市町村への支援	〇考古資料の保護、発掘調査・研究、研修などに関した支援を行います。	総情	〇資料の保存等に関する市町村への協力・支援 ・依頼事項の80%以上 〇考古資料の保護等に関わる市町村への協力・支援 ・遺跡や遺物の保護、発掘調査等を学術面から支援（依頼に応じて対応） ・考古資料（遺跡・遺物）に関わる研究や研修（講演等含む）に対し協力・支援（依頼に応じて対応）	・資料の保存等に関する依頼事項に100%対応 ・市町村等からの考古資料保護等に関する相談に対応・支援16件（100%） ・考古資料に関わる講演などを行った	a	A	〇資料の保護・保存等に関する市町村への協力・支援 ・調整の上依頼事項の100%以上 〇考古資料の保護・保存等に関わる市町村への協力・支援 ・遺跡や遺物の保護、発掘調査等を学術面から支援（依頼に応じて対応） ・考古資料（遺跡・遺物）に関わる研究や研修（講演等含む）に対し協力・支援（依頼に応じて対応）		
市町村への支援	〇考古資料の保護、発掘調査・研究、研修などに関した支援を行います。	考古	〇資料の保存等に関する市町村への協力・支援 ・依頼事項の80%以上 〇考古資料の保護等に関わる市町村への協力・支援 ・遺跡や遺物の保護、発掘調査等を学術面から支援（依頼に応じて対応） ・考古資料（遺跡・遺物）に関わる研究や研修（講演等含む）に対し協力・支援（依頼に応じて対応）	・資料の保存等に関する依頼事項に100%対応 ・市町村等からの考古資料保護等に関する相談に対応・支援16件（100%） ・考古資料に関わる講演などを行った	a	A	〇資料の保護・保存等に関する市町村への協力・支援 ・調整の上依頼事項の100%以上 〇考古資料の保護・保存等に関わる市町村への協力・支援 ・遺跡や遺物の保護、発掘調査等を学術面から支援（依頼に応じて対応） ・考古資料（遺跡・遺物）に関わる研究や研修（講演等含む）に対し協力・支援（依頼に応じて対応）		
市町村への支援	〇考古資料の保護、発掘調査・研究、研修などに関した支援を行います。	総情	〇資料の保存等に関する市町村への協力・支援 ・依頼事項の80%以上 〇考古資料の保護等に関わる市町村への協力・支援 ・遺跡や遺物の保護、発掘調査等を学術面から支援（依頼に応じて対応） ・考古資料（遺跡・遺物）に関わる研究や研修（講演等含む）に対し協力・支援（依頼に応じて対応）	・資料の保存等に関する依頼事項に100%対応 ・市町村等からの考古資料保護等に関する相談に対応・支援16件（100%） ・考古資料に関わる講演などを行った	a	A	〇資料の保護・保存等に関する市町村への協力・支援 ・調整の上依頼事項の100%以上 〇考古資料の保護・保存等に関わる市町村への協力・支援 ・遺跡や遺物の保護、発掘調査等を学術面から支援（依頼に応じて対応） ・考古資料（遺跡・遺物）に関わる研究や研修（講演等含む）に対し協力・支援（依頼に応じて対応）		
市町村への支援	〇考古資料の保護、発掘調査・研究、研修などに関した支援を行います。	考古	〇資料の保存等に関する市町村への協力・支援 ・依頼事項の80%以上 〇考古資料の保護等に関わる市町村への協力・支援 ・遺跡や遺物の保護、発掘調査等を学術面から支援（依頼に応じて対応） ・考古資料（遺跡・遺物）に関わる研究や研修（講演等含む）に対し協力・支援（依頼に応じて対応）	・資料の保存等に関する依頼事項に100%対応 ・市町村等からの考古資料保護等に関する相談に対応・支援16件（100%） ・考古資料に関わる講演などを行った	a	A	〇資料の保護・保存等に関する市町村への協力・支援 ・調整の上依頼事項の100%以上 〇考古資料の保護・保存等に関わる市町村への協力・支援 ・遺跡や遺物の保護、発掘調査等を学術面から支援（依頼に応じて対応） ・考古資料（遺跡・遺物）に関わる研究や研修（講演等含む）に対し協力・支援（依頼に応じて対応）		
市町村への支援	〇考古資料の保護、発掘調査・研究、研修などに関した支援を行います。	総情	〇資料の保存等に関する市町村への協力・支援 ・依頼事項の80%以上 〇考古資料の保護等に関わる市町村への協力・支援 ・遺跡や遺物の保護、発掘調査等を学術面から支援（依頼に応じて対応） ・考古資料（遺跡・遺物）に関わる研究や研修（講演等含む）に対し協力・支援（依頼に応じて対応）	・資料の保存等に関する依頼事項に100%対応 ・市町村等からの考古資料保護等に関する相談に対応・支援16件（100%） ・考古資料に関わる講演などを行った	a	A	〇資料の保護・保存等に関する市町村への協力・支援 ・調整の上依頼事項の100%以上 〇考古資料の保護・保存等に関わる市町村への協力・支援 ・遺跡や遺物の保護、発掘調査等を学術面から支援（依頼に応じて対応） ・考古資料（遺跡・遺物）に関わる研究や研修（講演等含む）に対し協力・支援（依頼に応じて対応）		
市町村への支援	〇考古資料の保護、発掘調査・研究、研修などに関した支援を行います。	考古	〇資料の保存等に関する市町村への協力・支援 ・依頼事項の80%以上 〇考古資料の保護等に関わる市町村への協力・支援 ・遺跡や遺物の保護、発掘調査等を学術面から支援（依頼に応じて対応） ・考古資料（遺跡・遺物）に関わる研究や研修（講演等含む）に対し協力・支援（依頼に応じて対応）	・資料の保存等に関する依頼事項に100%対応 ・市町村等からの考古資料保護等に関する相談に対応・支援16件（100%） ・考古資料に関わる講演などを行った	a	A	〇資料の保護・保存等に関する市町村への協力・支援 ・調整の上依頼事項の100%以上 〇考古資料の保護・保存等に関わる市町村への協力・支援 ・遺跡や遺物の保護、発掘調査等を学術面から支援（依頼に応じて対応） ・考古資料（遺跡・遺物）に関わる研究や研修（講演等含む）に対し協力・支援（依頼に応じて対応）		
市町村への支援	〇考古資料の保護、発掘調査・研究、研修などに関した支援を行います。	総情	〇資料の保存等に関する市町村への協力・支援 ・依頼事項の80%以上 〇考古資料の保護等に関わる市町村への協力・支援 ・遺跡や遺物の保護、発掘調査等を学術面から支援（依頼に応じて対応） ・考古資料（遺跡・遺物）に関わる研究や研修（講演等含む）に対し協力・支援（依頼に応じて対応）	・資料の保存等に関する依頼事項に100%対応 ・市町村等からの考古資料保護等に関する相談に対応・支援16件（100%） ・考古資料に関わる講演などを行った	a	A	〇資料の保護・保存等に関する市町村への協力・支援 ・調整の上依頼事項の100%以上 〇考古資料の保護・保存等に関わる市町村への協力・支援 ・遺跡や遺物の保護、発掘調査等を学術面から支援（依頼に応じて対応） ・考古資料（遺跡・遺物）に関わる研究や研修（講演等含む）に対し協力・支援（依頼に応じて対応）		
市町村への支援	〇考古資料の保護、発掘調査・研究、研修などに関した支援を行います。	考古	〇資料の保存等に関する市町村への協力・支援 ・依頼事項の80%以上 〇考古資料の保護等に関わる市町村への協力・支援 ・遺跡や遺物の保護、発掘調査等を学術面から支援（依頼に応じて対応） ・考古資料（遺跡・遺物）に関わる研究や研修（講演等含む）に対し協力・支援（依頼に応じて対応）	・資料の保存等に関する依頼事項に100%対応 ・市町村等からの考古資料保護等に関する相談に対応・支援16件（100%） ・考古資料に関わる講演などを行った	a	A	〇資料の保護・保存等に関する市町村への協力・支援 ・調整の上依頼事項の100%以上 〇考古資料の保護・保存等に関わる市町村への協力・支援 ・遺跡や遺物の保護、発掘調査等を学術面から支援（依頼に応じて対応） ・考古資料（遺跡・遺物）に関わる研究や研修（講演等含む）に対し協力・支援（依頼に応じて対応）		
市町村への支援	〇考古資料の保護、発掘調査・研究、研修などに関した支援を行います。	総情	〇資料の保存等に関する市町村への協力・支援 ・依頼事項の80%以上 〇考古資料の保護等に関わる市町村への協力・支援 ・遺跡や遺物の保護、発掘調査等を学術面から支援（依頼に応じて対応） ・考古資料（遺跡・遺物）に関わる研究や研修（講演等含む）に対し協力・支援（依頼に応じて対応）	・資料の保存等に関する依頼事項に100%対応 ・市町村等からの考古資料保護等に関する相談に対応・支援16件（100%） ・考古資料に関わる講演などを行った	a	A	〇資料の保護・保存等に関する市町村への協力・支援 ・調整の上依頼事項の100%以上 〇考古資料の保護・保存等に関わる市町村への協力・支援 ・遺跡や遺物の保護、発掘調査等を学術面から支援（依頼に応じて対応） ・考古資料（遺跡・遺物）に関わる研究や研修（講演等含む）に対し協力・支援（依頼に応じて対応）		
市町村への支援	〇考古資料の保護、発掘調査・研究、研修などに関した支援を行います。	考古	〇資料の保存等に関する市町村への協力・支援 ・依頼事項の80%以上 〇考古資料の保護等に関わる市町村への協力・支援 ・遺跡や遺物の保護、発掘調査等を学術面から支援（依頼に応じて対応） ・考古資料（遺跡・遺物）に関わる研究や研修（講演等含む）に対し協力・支援（依頼に応じて対応）	・資料の保存等に関する依頼事項に100%対応 ・市町村等からの考古資料保護等に関する相談に対応・支援16件（100%） ・考古資料に関わる講演などを行った	a	A	〇資料の保護・保存等に関する市町村への協力・支援 ・調整の上依頼事項の100%以上 〇考古資料の保護・保存等に関わる市町村への協力・支援 ・遺跡や遺物の保護、発掘調査等を学術面から支援（依頼に応じて対応） ・考古資料（遺跡・遺物）に関わる研究や研修（講演等含む）に対し協力・支援（依頼に応じて対応）		
市町村への支援	〇考古資料の保護、発掘調査・研究、研修などに関した支援を行います。	総情	〇資料の保存等に関する市町村への協力・支援 ・依頼事項の80%以上 〇考古資料の保護等に関わる市町村への協力・支援 ・遺跡や遺物の保護、発掘調査等を学術面から支援（依頼に応じて対応） ・考古資料（遺跡・遺物）に関わる研究や研修（講演等含む）に対し協力・支援（依頼に応じて対応）	・資料の保存等に関する依頼事項に100%対応 ・市町村等からの考古資料保護等に関する相談に対応・支援16件（100%） ・考古資料に関わる講演などを行った	a	A	〇資料の保護・保存等に関する市町村への協力・支援 ・調整の上依頼事項の100%以上 〇考古資料の保護・保存等に関わる市町村への協力・支援 ・遺跡や遺物の保護、発掘調査等を学術面から支援（依頼に応じて対応） ・考古資料（遺跡・遺物）に関わる研究や研修（講演等含む）に対し協力・支援（依頼に応じて対応）		
市町村への支援	〇考古資料の保護、発掘調査・研究、研修などに関した支援を行います。	考古	〇資料の保存等に関する市町村への協力・支援 ・依頼事項の80%以上 〇考古資料の保護等に関わる市町村への協力・支援 ・遺跡や遺物の保護、発掘調査等を学術面から支援（依頼に応じて対応） ・考古資料（遺跡・遺物）に関わる研究や研修（講演等含む）に対し協力・支援（依頼に応じて対応）	・資料の保存等に関する依頼事項に100%対応 ・市町村等からの考古資料保護等に関する相談に対応・支援16件（100%） ・考古資料に関わる講演などを行った	a	A	〇資料の保護・保存等に関する市町村への協力・支援 ・調整の上依頼事項の100%以上 〇考古資料の保護・保存等に関わる市町村への協力・支援 ・遺跡や遺物の保護、発掘調査等を学術面から支援（依頼に応じて対応） ・考古資料（遺跡・遺物）に関わる研究や研修（講演等含む）に対し協力・支援（依頼に応じて対応）		
市町村への支援	〇考古資料の保護、発掘調査・研究、研修などに関した支援を行います。	総情	〇資料の保存等に関する市町村への協力・支援 ・依頼事項の80%以上 〇考古資料の保護等に関わる市町村への協力・支援 ・遺跡や遺物の保護、発掘調査等を学術面から支援（依頼に応じて対応） ・考古資料（遺跡・遺物）に関わる研究や研修（講演等含む）に対し協力・支援（依頼に応じて対応）	・資料の保存等に関する依頼事項に100%対応 ・市町村等からの考古資料保護等に関する相談に対応・支援16件（100%） ・考古資料に関わる講演などを行った	a	A	〇資料の保護・保存等に関する市町村への協力・支援 ・調整の上依頼事項の100%以上 〇考古資料の保護・保存等に関わる市町村への協力・支援 ・遺跡や遺物の保護、発掘調査等を学術面から支援（依頼に応じて対応） ・考古資料（遺跡・遺物）に関わる研究や研修（講演等含む）に対し協力・支援（依頼に応じて対応）		
市町村への支援	〇考古資料の保護、発掘調査・研究、研修などに関した支援を行います。	考古	〇資料の保存等に関する市町村への協力・支援 ・依頼事項の80%以上 〇考古資料の保護等に関わる市町村への協力・支援 ・遺跡や遺物の保護、発掘調査等を学術面から支援（依頼に応じて対応） ・考古資料（遺跡・遺物）に関わる研究や研修（講演等含む）に対し協力・支援（依頼に応じて対応）	・資料の保存等に関する依頼事項に100%対応 ・市町村等からの考古資料保護等に関する相談に対応・支援16件（100%） ・考古資料に関わる講演などを行った	a	A	〇資料の保護・保存等に関する市町村への協力・支援 ・調整の上依頼事項の100%以上 〇考古資料の保護・保存等に関わる市町村への協力・支援 ・遺跡や遺物の保護、発掘調査等を学術面から支援（依頼に応じて対応） ・考古資料（遺跡・遺物）に関わる研究や研修（講演等含む）に対し協力・支援（依頼に応じて対応）		
市町村への支援	〇考古資料の保護、発掘調査・研究、研修などに関した支援を行います。	総情	〇資料の保存等に関する市町村への協力・支援 ・依頼事項の80%以上 〇考古資料の保護等に関わる市町村への協力・支援 ・遺跡や遺物の保護、発掘調査等を学術面から支援（依頼に応じて対応） ・考古資料（遺跡・遺物）に関わる研究や研修（講演等含む）に対し協力・支援（依頼に応じて対応）	・資料の保存等に関する依頼事項に100%対応 ・市町村等からの考古資料保護等に関する相談に対応・支援16件（100%） ・考古資料に関わる講演などを行った	a	A	〇資料の保護・保存等に関する市町村への協力・支援 ・調整の上依頼事項の100%以上 〇考古資料の保護・保存等に関わる市町村への協力・支援 ・遺跡や遺物の保護、発掘調査等を学術面から支援（依頼に応じて対応） ・考古資料（遺跡・遺物）に関わる研究や研修（講演等含む）に対し協力・支援（依頼に応じて対応）		
市町村への支援	〇考古資料の保護、発掘調査・研究、研修などに関した支援を行います。	考古	〇資料の保存等に関する市町村への協力・支援 ・依頼事項の80%以上 〇考古資料の保護等に関わる市町村への協力・支援 ・遺跡や遺物の保護、発掘調査等を学術面から支援（依頼に応じて対応） ・考古資料（遺跡・遺物）に関わる研究や研修（講演等含む）に対し協力・支援（依頼に応じて対応）	・資料の保存等に関する依頼事項に100%対応 ・市町村等からの考古資料保護等に関する相談に対応・支援16件（100%） ・考古資料に関わる講演などを行った	a	A	〇資料の保護・保存等に関する市町村への協力・支援 ・調整の上依頼事項の100%以上 〇考古資料の保護・保存等に関わる市町村への協力・支援 ・遺跡や遺物の保護、発掘調査等を学術面から支援（依頼に応じて対応） ・考古資料（遺跡・遺物）に関わる研究や研修（講演等含む）に対し協力・支援（依頼に応じて対応）		
市町村への支援	〇考古資料の保護、発掘調査・研究、研修などに関した支援を行います。	総情	〇資料の保存等に関する市町村への協力・支援 ・依頼事項の80%以上 〇考古資料の保護等に関わる市町村への協力・支援 ・遺跡や遺物の保護、発掘調査等を学術面から支援（依頼に応じて対応） ・考古資料（遺跡・遺物）に関わる研究や研修（講演等含む）に対し協力・支援（依頼に応じて対応）	・資料の保存等に関する依頼事項に100%対応 ・市町村等からの考古資料保護等に関する相談に対応・支援16件（100%） ・考古資料に関わる講演などを行った	a	A	〇資料の保護・保存等に関する市町村への協力・支援 ・調整の上依頼事項の100%以上 〇考古資料の保護・保存等に関わる市町村への協力・支援 ・遺跡や遺物の保護、発掘調査等を学術面から支援（依頼に応じて対応） ・考古資料（遺跡・遺物）に関わる研究や研修（講演等含む）に対し協力・支援（依頼に応じて対応）		
市町村への支援	〇考古資料の保護、発掘調査・研究、研修などに関した支援を行います。	考古	〇資料の保存等に関する市町村への協力・支援 ・依頼事項の80%以上 〇考古資料の保護等に関わる市町村への協力・支援 ・遺跡や遺物の保護、発掘調査等を学術面から支援（依頼に応じて対応） ・考古資料（遺跡・遺物）に関わる研究や研修（講演等含む）に対し協力・支援（依頼に応じて対応）	・資料の保存等に関する依頼事項に100%対応 ・市町村等からの考古資料保護等に関する相談に対応・支援16件（100%） ・考古資料に関わる講演などを行った	a	A	〇資料の保護・保存等に関する市町村への協力・支援 ・調整の上依頼事項の100%以上 〇考古資料の保護・保存等に関わる市町村への協力・支援 ・遺跡や遺物の保護、発掘調査等を学術面から支援（依頼に応じて対応） ・考古資料（遺跡・遺物）に関わる研究や研修（講演等含む）に対し協力・支援（依頼に応じて対応）		
市町村への支援	〇考古資料の保護、発掘調査・研究、研修などに関した支援を行います。	総情	〇資料の保存等に関する市町村への協力・支援 ・依頼事項の80%以上 〇考古資料の保護等に関わる市町村への協力・支援 ・遺跡や遺物の保護、発掘調査等を学術面から支援（依頼に応じて対応） ・考古資料（遺跡・遺物）に関わる研究や研修（講演等含む）に対し協力・支援（依頼に応じて対応）	・資料の保存等に関する依頼事項に100%対応 ・市町村等からの考古資料保護等に関する相談に対応・支援16件（100%） ・考古資料に関わる講演などを行った	a	A	〇資料の保護・保存等に関する市町村への協力・支援 ・調整の上依頼事項の100%以上 〇考古資料の保護・保存等に関わる市町村への協力・支援 ・遺跡や遺物の保護、発掘調査等を学術面から支援（依頼に応じて対応） ・考古資料（遺跡・遺物）に関わる研究や研修（講演等含む）に対し協力・支援（依頼に応じて対応）		
市町村への支援	〇考古資料の保護、発掘調査・研究、研修などに関した支援を行います。	考古	〇資料の保存等に関する市町村への協力・支援 ・依頼事項の80%以上 〇考古資料の保護等に関わる市町村への協力・支援 ・遺跡や遺物の保護、発掘調査等を学術面から支援（依頼に応じて対応） ・考古資料（遺跡・遺物）に関わる研究や研修（講演等含む）に対し協力・支援（依頼に応じて対応）	・資料の保存等に関する依頼事項に100%対応 ・市町村等からの考古資料保護等に関する相談に対応・支援16件（100%） ・考古資料に関わる講演などを行った	a	A	〇資料の保護・保存等に関する市町村への協力・支援 ・調整の上依頼事項の100%以上 〇考古資料の保護・保存等に関わる市町村への協力・支援 ・遺跡や遺物の保護、発掘調査等を学術面から支援（依頼に応じて対応） ・考古資料（遺跡・遺物）に関わる研究や研修（講演等含む）に対し協力・支援（依頼に応じて対応）		
市町村への支援	〇考古資料の保護、発掘調査・研究、研修などに関した支援を行います。	総情	〇資料の保存等に関する市町村への協力・支援 ・依頼事項の80%以上 〇考古資料の保護等に関わる市町村への協力・支援 ・遺跡や遺物の保護、発掘調査等を学術面から支援（依頼に応じて対応） ・考古資料（遺跡・遺物）に関わる研究や研修（講演等含む）に対し協力・支援（依頼に応じて対応）	・資料の保存等に関する依頼事項に100%対応 ・市町村等からの考古資料保護等に関する相談に対応・支援16件（100%） ・考古資料に関わる講演などを行った	a	A	〇資料の保護・保存等に関する市町村への協力・支援 ・調整の上依頼事項の100%以上 〇考古資料の保護・保存等に関わる市町村への協力・支援 ・遺跡や遺物の保護、発掘調査等を学術面から支援（依頼に応じて対応） ・考古資料（遺跡・遺物）に関わる研究や研修（講演等		

【基本目標2】 未来を映す歴史知識の泉、歴史学習の拠点としての役割を果たします

【取組2-1】 長野県の歴史を明らかにし、その成果を普及します

	基本目標に対する取組		令和6年度 主な事業・取組 / 目標値	令和6年度 達成値	自己評価	R6反省、R7改善点・取組方針等	令和7年度 主な事業・取組 / 目標値	《参考》利用者の声 (R5アンケート等)
常設展示の充実	○定期的な展示替えや新展示をするなど展示の改善を図り、総合調査の成果を生かした総合展示を実現します。	総情	○常設展示の工夫 ・満足度 80%以上 ・新テーマ展示を時代別に検討し、実現化に向けて取り組む。 ・関係機関(市町村教委、県内外博物館、信州大学等)との連携強化	・観覧者数 R6 29,159人 満足度 95% (R5 24,495人 前年比95.4%) ・常設展示の工夫として近世に千両箱持ち上げ体験を増設。 ・新テーマ展示検討を進めた ・信州大学との連携協定の下、常設展示解説を軸として博物館学の授業を3回実施。	a	A	○常設展示の工夫 ・満足度 80%以上 ・新テーマ展示を時代別に検討し、実現化に向けて取り組む。 ・関係機関(市町村教委、県内外博物館、信州大学等)との連携強化	・再現展示の住居内に入る体験ができてよい。 ・当時の街並みの一部がそのまま通路になっていて没入感があった。 ・クイズができるパソコンで操作の練習ができてよかった。 ・室内が暑く、監視員さんたちが大変そうだった。
		総情	○展示情報の発信 ・開館30周年に際してYouTubeやSNSを活用し、館の情報や展示資料について広く発信できるよう努める。	・X (旧Twitter) の発信27回、歴史館ブログの発信3回。HPの更新102回。 ・開館30周年のイベントやカウントダウンをPRすることができた。 ・複数人で協力し更新することができた。	a		○展示情報の発信 ・YouTubeやSNSを活用し、館の情報や展示資料について広く発信できるよう努める。	・30周年おめでとうございます。

長野県立歴史館中長期目標(2020-2029年)に基づく令和6年度事業に係る実施状況・自己評価 及び 令和7年度事業に係る実施計画及び目標設定

評価の区分
A (a) 目標を上回る成果をあげた
B (b) ほぼ目標は達成した
C (c) 目標には及ばなかった
D (d) 目標には遠く及ばなかった

企画展示の充実	〇県民のニーズに沿った企画展を実施するとともに、企画展示の充実を進めます。 〇理想的な環境で文化財を公開できるように環境整備を行い、企画展示室のリニューアルを実現します。	総情	〇企画展示の充実 ・満足度（来場者アンケート：大いに満足、満足）80%以上	・総観覧者数 21,011人。満足度 約95% (R5 16,847人前年度約93% R4 18,929人)	a	A		〇企画展示の充実 ・満足度（来場者アンケート：大いに満足、満足）80%以上	
		総情	・所蔵品展「至宝の名品 学芸員のイチオン近現代歴史資料編」(3/23～6/16)	・所蔵品展「至宝の名品 学芸員のイチオン近現代歴史資料編」(3/23～6/16、年度内4/1～6/16) 8424人、満足度93%	a		館蔵品の魅力を伝える展示を志向する。	・所蔵品展「原始～開館30年のあゆみ展～」(3/15～6/15)	・貴重な資料をたくさん見させてもらった。 ・「農耕図」の解説がわかりやすかった。 ・満蒙開拓団の様子が伝えられ、当時の様子を知った。 ・テーマ毎に分けての展示がわかりやすかった。
		総情	・夏季企画展「疾風怒濤 木曾義仲～文書と絵画でみる義仲の一生～」(7/13～8/25)	・夏季企画展「疾風怒濤 木曾義仲～文書と絵画でみる義仲の一生～」(7/13～8/25) 39日5,226人 満足度96% QRコードによるアンケートを実施し、回収率15%と大幅に改善した。また職員の事務作業の効率化につながった。	a		・パネルは必要に応じて手作りをしたい ・順路についてはわかりやすく指示板を設置したい。 ・展示室内での話し声やボールペン使用については注意喚起ができるよう統一したい。	・夏季企画展「安曇野～知られざる里山の祈り～」(7/5～8/24)	・屏風が素晴らしい、迫力がある、たくさんあって見応えがあった・義仲の自筆といわれる書状がよかった ・国宝が見られてよかった ・寺外初公開の義仲像が見られてよかった・メール風の解説がよいなど（アンケート）
		総情	・秋季企画展「描かれた川中島合戦～屏風・錦絵にみる戦の世界」2024年10月12日（土）～11月24日（日）	「描かれた川中島合戦～屏風・錦絵にみる戦の世界～」令和6年10月12日（土）～11月24（日）（44日） 総観覧者数4,793人 満足度97%	a		地元に残る文化財を中心に紹介した。昨年度冬季企画展の総入場者を上回った	・秋季企画展「疫病退散」除災祈願の考古学～木製祭祀具に見る古代の祈り～（10/4～11/16）	・クラウドファンディングで購入された古文書を拝見できて嬉しかった。 ・山梨や新潟の県立博物館からも史料を借用され、多角的に川中島合戦の展示を展開していて良かった。 ・新潟・山梨・長野の歴史館が連携することで深みのある内容だった。 ・第二展示室でいろんな武士がいたのがわかってよかった。 ・笹本先生の講演を聞いてから屏風の細部もみて戦の実態がよくわかりとてもよかった。
		総情	・冬季企画展「佐久間象山遺墨展～書は人なり～」2025年1月11日（土）～2月24日（月・祝）	開館日数38日／入場者2,568人／満足度97.5%	a		今後も魅力的な展示を目指す。	・冬季企画展「霊場小菅～飯山の遺産と文化～」(1/10～3/1)	・象山の偉大さを改めて知った。 ・書道をこれからも学んでいきたい。 ・多くの作品を一カ所で見られてよかった。 ・書以外の資料も興味深かった。 ・高校生の作品が素晴らしい。 ・展示について親切に教えて頂きありがとうございました。
		総情	・所蔵品展「原始 ～開館30年の成果展～」(3/15～6/15)	・アンケート結果では、大いに満足及び満足が9割以上になる。	a		昨年度より更新する回数は増えたが、その集客効果については投稿内容などで研究していく。	・令和8年長野県立歴史館所蔵品展「近現代～長野県民の戦後再出発～」(3/14～6/14)	
		総情	・YouTubeやSNSにより、解説動画・情報等を発信するとともに、発信内容の品質向上に努める。	・Twitterにおける情報発信回数 R6所蔵品展16回、夏季企画展16回、秋季企画展26回、冬季企画展28回、R7所蔵品展6回 ・企画展担当者など複数人で協力し更新することができた。	a			・YouTubeやSNSにより、解説動画・情報等を発信するとともに、発信内容の品質向上に努める。	
		総情	〇第2展示室の活用 ・小展示室を、館蔵品を使った企画展開連展示や、新収蔵品の紹介展示、パネル展示などで活用 〇映像視聴用に利用する	・小展示室を、R6所蔵品展では「雑誌創刊号コレクション」を展示し、夏季企画展では、後援団体である小矢部市制作動画のほか当館制作動画を放映した。また、複製市河文書を公開した。、秋季企画展ではパネル「信濃の武者」、冬季企画では高校生の習字作品発表の場、R7所蔵品展では30年間に実施した考古資料を対象とした企画展のポスター・図録の展示及び個人より寄贈された考古資料の展示に活用。 〇うち、夏季、秋季は映像視聴用に利用した	a		・ゆっくり映像資料を視聴できる空間をつくる。	〇第2展示室の活用 ・小展示室を、館蔵品を使った企画展開連展示や、新収蔵品の紹介展示、パネル展示などで活用 〇映像視聴用に利用する	・雑誌創刊号コレクションが印象に残った。(所蔵品展) ・西川かおりさんの活躍が見れてうれしかった。(夏季展) ・いろんな武将の説明がありわかりやすかった。(秋季展) ・高校生の作品が素晴らしかった。

長野県立歴史館中長期目標(2020-2029年)に基づく令和6年度事業に係る実施状況・自己評価 及び 令和7年度事業に係る実施計画及び目標設定

評価の区分
A (a) 目標を上回る成果をあげた
B (b) ほぼ目標は達成した
C (c) 目標には及ばなかった
D (d) 目標には遠く及ばなかった

総合専門調査分野の実施	○考古資料、文献史料、総合情報専門性を総合して館外研究者等の協力による長野県の歴史に関する総合的研究を行います	総情 考古 文献	○総合研究の成果を企画展時に活かす ・総合研究を結集した所蔵品展の実施	○令和7年所蔵品展のために県内7地区で勉強会を実施し、資料所蔵市町村担当者と各地の文化財の総合調査研究を実施した。全7回で合計○名の参加。5回地元紙記事として取り上げられ、当館総合調査周知にも寄与した。	a	A	今後は令和8年度の官衙展で展示を通じた総合的な調査研究を進める。	○総合研究の成果を企画展時に活かす ・総合研究を結集した所蔵品展の実施	
県内外の研究団体、研究者等と協力した調査研究の実施	○県内外の地方史研究団体、郷土史・地方史研究者、市町村教育委員会、博物館、大学等と協力した調査研究を実施します。	総情	○安曇野研究会の立ち上げ R7夏季企画展（安曇野に関する展示）に向けて、安曇野に関する研究者の研究の成果を交流する。	・実施なし	d	B			
		文献	○館設定研究テーマの調査・研究 ・長野県行政文書研究会 長野県宝に指定されている当館所蔵特定歴史公文書の撮影を進める	・行政文書研究会を2回実施した。当館収蔵特定歴史公文書の来歴について議論を深めた。資料撮影を2143冊おこなった。	a		・基礎研究を引き続き外部有識者とともに進め、令和8年度企画展に生かせるようにする	○館設定研究テーマの調査・研究 ・長野県行政文書研究会 長野県宝に指定されている当館所蔵特定歴史公文書の撮影を進める。成果をまとめる。	・7年度も継続して撮影を進めていきたい（共同研究者）
		文献	○長野県青年運動史研究会 当館所蔵「長野県連合青年団関係史料」を読解し、戦後の青年団運動等を系統的に研究することで、戦後地域民衆史の構築を図る（県内大学教員、図書館職員、アーキビスト等の参加を得て年3回以上開催し、史料調査を当館で実施）	・資料調査を計3ヶ所で実施（佐久市農村保健研修センター内若月俊一文庫、佐久市節夫文庫、軽井沢町歴史民俗資料館）	a			○長野県青年運動史研究会 当館所蔵「長野県連合青年団関係史料」を読解し、戦後の青年団運動等を系統的に研究することで、戦後地域民衆史の構築を図る（県内大学教員、図書館職員、アーキビスト等の参加を得て年3回以上開催し、史料調査を当館で実施）	・長野県史に使えるように整理を進めたい。
資料の調査・収集	○長野県によって推進された戦前までを範囲とする「長野県史」を受け継いで、その後の長野県の歩みを明らかにする「長野県現代史」をはじめとする県史編纂のための史料収集をします	文献	○近現代資料の調査・収集 ・聞き取り調査計画的実施（3回）	・県史現代編に関して戦時期及び長野五輪についての証言等、2件の調査を行なった	a	A		○近現代資料の調査・収集	・戦後80年を迎えるので聞き取りを計画的に実施してほしい（信濃史学会）

文化財専門員

〔取組2-2〕 県民の生涯学習を支援します

	基本目標に対する取組		令和6年度 主な事業・取組 / 目標値	令和6年度 達成値	自己評価	R6反省、R7改善点・取組方針等	令和7年度 主な事業・取組 / 目標値	《参考》利用者の声（R5アンケート等）
展示解説の実施	○常設展示、企画展示など、展示を企画した学芸員が、展示のねらいや内容についてわかりやすく解説します。	総情	○常設展示室たより「資料が語る」の作成 ・展示替え、新展示に合わせて、随時作成	定期的な展示替えに関わる「資料が語る」の発行は100%実施できたが、不定期の資料替えについては、十分な周知化は図れなかった。	a	展示替えについてスケジュール管理を徹底する。	○常設展示室たより「資料が語る」の作成 ・展示替え、新展示に合わせて、随時作成	
		総情	○展示解説・ギャラリートークの実施 ・解説希望の学校・団体 満足度80%以上 ・企画展講演会 開催3回 延べ240人 満足度80%以上	・学校見学は194校、合計10,334名に実施。満足度83%。 （令和5年度177校、満足度98.4%） ・企画展講演会等 10回実施 延べ1,399人 満足度88%	a	ギャラリートークや職員臨時解説の声がうるさいとの複数指摘を受け、周知を図った。今後も配慮を徹底するとともに幅広いニーズに沿った展示解説を行う。	○展示解説・ギャラリートークの実施 ・解説希望の学校・団体 満足度80%以上 ・企画展講演会 開催3回 延べ240人 満足度80%以上	・丁度、笹本館長が説明されている時に一緒に聞かせて頂きありがとうございました。
講演会・講座等の開催	○企画展講演会及び講座（県立歴史館講座、考古学講座、古文書講座）を開催します。	総情	○県立歴史館講座の開催 ・開催7回 満足度80%以上	・7回開催 受講者数445人 満足度93.4%	a	講堂の映像機器を更新し映像が見やすくなったとの評価をいただいた。	○県立歴史館講座の開催 ・開催7回 満足度80%以上	
		考古	○考古学体験講座 開催3回、ティーンズ考古学講座の開催 満足度80%以上	考古学体験講座 開催3回、ティーンズ考古学講座 開催2回 満足度100%	a		○考古学体験講座 開催3回、ティーンズ考古学講座の開催 満足度80%以上	実際に考古資料を手にとって体験できることはないのでありがたい
		文献	○古文書講座の開催 ・開催25回 延べ受講者600人 満足度80%以上 ・幅広い層の参加ができるような取り組みをおこなう。	・25回開催 受講者延べ 865人 満足度95.6% ・古文書入門講座を3月に開催	a	・南信地区の需要を開拓するため、古文書初級出前講座を実施する予定。	○古文書講座の開催 ・開催30回 延べ受講者750人 満足度80%以上 ・幅広い層の参加ができるような取り組みをおこなう。	
		文献	○ティーンズ古文書講座の開催 ・開催2回 受講者5人 満足度80%以上	・2回開催 受講者延べ12人 満足度100%	a		○ティーンズ古文書講座の開催 ・開催2回 受講者5人 満足度80%以上	
		文献	○古文書フォローアップ講座の開催 ・開催2回 延べ100人 満足度80%以上	・2回開催 受講者95人 満足度89.5%	b	・1回にまとめ外部講師を招へいする。	○古文書フォローアップ講座の開催 ・開催2回 延べ100人 満足度80%以上	・1年間の講座のまとめができた（参加者）
各種出版物の発行	○ブックレット、研究紀要、史料目録、企画展・常設展図録、館たよりなどを発行します。	総情	○計画に従い各種出版物の発行 ・ブックレット：春季展（所蔵品展）の図録を兼ねることとする。年1回発行、32巻まで） ・早めの推進を心掛ける	・春季展に合わせ、ブックレット信濃の風土と歴史29「長野県立歴史館所蔵品選 第2弾 一原始一」を発行	a	展示に即したブックレットを編集する。	○計画に従い各種出版物の発行 ・ブックレット：春季展（所蔵品展）の図録を兼ねることとする。年1回発行、32巻まで）	
		総情	・Web版での発行	・研究紀要第31号発行（Web版）	a	・様々な分野が掲載されるよう声をかける。 ・製本したものを図書室に配架する。	・Web版での発行	・図書室に印刷版を配架してほしい（利用者）。
		総情	・企画展図録：夏季・秋季・冬季企画展における図録発行	・企画展図録：夏季100頁・秋季80頁・冬季120頁の企画展図録を発行した。	a	展示解説の一環として質の高い図録を作成していく。	・企画展図録：夏季・秋季・冬季企画展における図録発行	
		総情	・館だよりの発行（年4回発行） ・年度始めに4回発行分の業者を決定する。	・館だよりの発行（年4回発行） ・年度始めに4回分の業者を決定した。	a		・館だよりの発行（年4回発行） ・年度始めに4回発行分の業者を決定する。	
体験学習の実施	○各種体験学習を開発し実施します。	総情	○体験学習の教材開発と実施 ・各企画展の内容にかかわらせて実施 ・学校見学の中で実施	・夏季企画展にかかわり義仲の花押を体験できるブースを設置する。着付け体験も実施した。 ・企画展担当者が展示とかかわらせて、秋季では刀や軍配の模造を作製したり、冬季ではオリジナル絵葉書の色塗り体験を実施したりした。 ・東博で視察を行い、展示物の一部分の写真をヒントに展示物を探す体験を新たに考案した。	a	・子ども向けの体験コーナーは引き続き考えていきたい。 ・東博で視察を行い、展示物の一部分の写真をヒントに展示物を探す体験を新たに考案したい。	○体験学習の教材開発と実施 ・各企画展の内容にかかわらせて実施 ・学校見学の中で実施	

長野県立歴史館中長期目標(2020-2029年)に基づく
令和6年度事業に係る実施状況・自己評価 及び 令和7年度事業に係る実施計画及び目標設定

評価の区分
A (a) 目標を上回る成果をあげた
B (b) ほぼ目標は達成した
C (c) 目標には及ばなかった
D (d) 目標には遠く及ばなかった

〔取組2-3〕 学校教育を支援します

	基本目標に対する取組		令和6年度 主な事業・取組 / 目標値	令和6年度 達成値	自己評価	R6反省、R7改善点・取組方針等	令和7年度 主な事業・取組 / 目標値	《参考》利用者の声（R5アンケート等）
学校 教育 への 協 力・ 連 携	○小中高校の総合的学習や社会科授業、大学の教養科目等の一環として歴史館を積極的に活用してもらえるようにします。 ○博物館実習をはじめとする大学教育との連携を図ります。	総情	○学校見学時の施設案内の実施・満足度80%以上 ・学校見学への対応について、今まで以上に見学者目線に立って改善工夫を行う。	・満足度「大いに満足」が78%。「満足」が22%。100%が満足。 ・学校見学に対する改善を随時行った。	a	A	○学校見学時の施設案内の実施・満足度80%以上 ・学校見学への対応について、今まで以上に見学者目線に立って改善工夫を行う。	
		総情	○小・中・高・大学等での出前授業 ・依頼に応じて対応	・依頼なし	-		○小・中・高・大学等での出前授業 ・依頼に応じて対応	
		総情	○博物館実習の受入 ・参加人数上限10名まで受入れ	・10名を受け入れ内定、2名辞退。結果、8名を受け入れた。 8月22日(木)～9月3日(火) 10日間実施	a		○博物館実習の受入 ・参加人数上限10名まで受入れ	
職場 体験 の 受け 入れ	○中学、高校、大学での職場体験事業（インターンシップ）の受け入れを行い、生徒に博物館業務を体験してもらい、博物館・文書館等への認識を深める機会を設けます。	総情	○職場体験学習の受入 ・希望者の100%受入れ	・中学校4校20名、高校1校2名、教員キャリアアップ研修1校1名を受入れ合計10日間実施した。希望者100%受入れ。	a	A	○職場体験学習の受入 ・希望者の100%受入れ	
実教 育・ 研 修 協 力 の	○県教育委員会等の依頼により、教員対象の研修会を行い、博学連携を深めます。	総情	○教員研修（総合教育センター研修）への協力、実施 ・希望者の100%受入れ（最大20名）	7月9日に実施。当日欠席者1名以外18名参加。 希望者は100%実施した。	a	A	○教員研修（総合教育センター研修）への協力、実施 ・希望者の100%受入れ（最大20名）	

〔取組2-4〕 歴史情報を提供します

	基本目標に対する取組		令和6年度 主な事業・取組 / 目標値	令和6年度 達成値	自己評価	R6反省、R7改善点・取組方針等	令和7年度 主な事業・取組 / 目標値	《参考》利用者の声（R5アンケート等）
館史 資料 の 閲 覧	○考古資料 文献史料 図書資料等を閲覧できるようにします。	文献	○史資料の閲覧 ・整理が終了した古文書等の公開を進め、公開情報をホームページ、ブログ等に掲載、周知 Xやブログの更新10回	・整理が終了した古文書等の公開 整理を終えた古文書群は直ちに公開手続を取り、ホームページ上でその都度データ更新を実施 公開件数7,531点、公開度100% ・古文書公開ブログ更新なし、新資料の情報を積極的に公開	c	B	○史資料の閲覧 ・整理が終了した古文書等の公開を進め、公開情報をホームページ、ブログ等に掲載、周知 Xやブログの更新10回	
		考古	・整理・収納した考古資料の公開を進める。閲覧依頼については事前調整を行い、閲覧可能資料には100%対応	・考古資料の閲覧38件 100%対応	a		・整理・収納した考古資料の公開を進める。閲覧依頼については事前調整を行い、閲覧可能資料には100%対応	
		総情	・図書資料は、寄贈、購入等の手続き終了次第閲覧可能となるよう登録を進める（年度内受入図書資料の100%登録）	・受入図書資料登録 100%	a		・図書資料は、寄贈、購入等の手続き終了次第閲覧可能となるよう登録を進める（年度内受入図書資料の100%登録）	
ンレ フ ァ レン ス ヘ の レ ス ポ ン デ ン ス	○県民等からの質問に的確に対応し、歴史情報を提供します。	総情	○レファレンスに対する的確な対応 ・レファレンス対応100%実施 ・必要に応じレファレンス内容を共有	・レファレンスに対する的確な対応は実行できた。ただし、個人あての問い合わせなど、全ての事案を把握しての対応には不足もあった。	a	A	○レファレンスに対する的確な対応 ・レファレンス対応100%実施 ・必要に応じレファレンス内容を共有	
ホ ー ム ペ ー ジ の 充 実	○歴史情報提供の有力な手段の一つとして誰もが活用できるように、使いやすさに配慮したホームページを充実させます。	総情	○ホームページによる情報提供 ・アクセス数の増加（前年度比100%以上）	・アクセス数 99,346件（2月末現在 R5：92,517件 前年度比107%）	a	A	○ホームページによる情報提供 ・アクセス数の増加（前年度比100%以上）	
		総情	・開、閉館情報や来館者へのお知らせなど、時宜に応じて発信	・情報発信回数 119回 ・ブログ更新回数 23回	a		・開、閉館情報や来館者へのお知らせなど、時宜に応じて発信	
		総情	・デジタルアーカイブページについて、利用者の促進を図るよう、表示の改善を随時行う	・所蔵資料のデータベース公開に向けた資料整理を実施。	a		・デジタルアーカイブページについて、利用者の促進を図るよう、表示の改善を随時行う	
歴 史 情 報 シ ス テ ム の 整 備	○館蔵史資料情報をデータベース化し、ホームページ等を通じて的確に情報提供します。	考古	○歴史情報のデータベース化の推進 ・考古資料 デジタル化した発掘調査記録写真のデータベース化を継続し、方針に沿った本格運用に向けて準備する	デジタル化終了。	a	A	○歴史情報のデータベース化の推進 館DXのひとつとして位置づけ、本格運用に向けて準備する	
		文献	・文献史料 古文書等の目録をデータベース化し、歴史情報システムへ登録、翻刻した文書を掲載	・文献史料 古文書等の目録をデータベース化し、歴史情報システムに7,531点登録	a		・文献史料 古文書等の目録をデータベース化し、歴史情報システムへ登録、翻刻した文書を掲載	
マ ス コ ミ 等 に よ る 歴 史 情 報 の 発 信	○広く歴史情報を県民に伝えるために、マスコミ等により積極的に情報を発信します。	総情	○マスコミによる歴史館情報の発信 ・信濃毎日新聞連載「しなの歴史再見」への寄稿・信濃毎日新聞千曲市局記者による連載・開館記念日前後に合わせた県立歴史館のPR記事の掲載を促す。	・信濃毎日新聞「しなの歴史再見」53回掲載。 ・30周年記念で所蔵品紹介13回掲載。	a	A	○マスコミによる歴史館情報の発信 ・信濃毎日新聞連載「しなの歴史再見」への寄稿・信濃毎日新聞千曲市局記者による連載・開館記念日前後に合わせた県立歴史館のPR記事の掲載を促す。	・新聞等で歴史館について学んでいましたが、いざ訪れると圧倒されました。展示資料が素晴らしかったです。
		総情	・企画展、講座等の情報発信（新聞、情報誌等への掲載）	・読売新聞「学芸員のおススメ！！」6回掲載。 ・千曲市報7月号では30周年特集ページ（4頁）掲載。 ・FM長野出演1回（ペントスタイル）、文化放送出演2回（峰竜太とみんなの信州）	a		・企画展、講座等の情報発信（新聞、情報誌等への掲載）	
		総情	・長野県ケーブルテレビジョン連盟による主催講座の発信	・長野ケーブルテレビジョン連盟と協力し、歴史館講座について各回発信することができた。	a		・長野県ケーブルテレビジョン連盟による主催講座の発信 ・各局での放送状況を確認	
情 報 常 機 設 器 展 示 よ る 室 で の 供 与	○メイン展示、周辺展示を補い、必要な歴史情報を提供できるようにします。	総情	○ICTの新たな活用方法の検討 ・DXに対応したコンテンツの構築	・4月からの新展示について、各時代ごとに1カ所ずつQRコード解説を新設した。	a	A	○ICTの新たな活用方法の検討 ・DXに対応したコンテンツの構築	・動画やクイズなどがありわかりやすかった。

長野県立歴史館中長期目標(2020-2029年)に基づく
令和6年度事業に係る実施状況・自己評価 及び 令和7年度事業に係る実施計画及び目標設定

評価の区分
A (a) 目標を上回る成果をあげた
B (b) ほぼ目標は達成した
C (c) 目標には及ばなかった
D (d) 目標には遠く及ばなかった

【基本目標3】 楽しむ場・憩いの場・交流の場としての役割を果たします

〔取組3-1〕 楽しむことができる場とします

	基本目標に対する取組		令和6年度 主な事業・取組 / 目標値	令和6年度 達成値	自己評価	R6反省、R7改善点・取組方針等	令和7年度 主な事業・取組 / 目標値	《参考》利用者の声（R5アンケート等）
子どもが楽しめる空間の提供	○子どもたちが歴史を楽しみながら体感し、遊びを通して学ぶことのできる空間を提供します。	総情	○親子映画会の開催	○3/20、/22/, 23の3日間、親子映画会を開催 総人数406人	a	A	映像機器の更新の検討を開始する	○親子映画会の開催
	○親子や家族で語らい世代間のコミュニケーションを促進する場や機会を提供します。	総情	○体験イベントの開催 ・こどもの日・夏休み・クリスマスリースづくりは継続実施、そのほか企業協賛日等イベント実施	・体験イベント4回実施 ・「歴史館でこどもの日」140人（どきmoドキ140人） ・「歴史館で夏休み」56名（プラ板マスコットづくり56名） ・「縄文風クリスマスリースを作ろう」20名 ・「KOAの日」114名（プラ板マスコットづくり114名）	a		今後も魅力あるイベントに取り組む。	○体験イベントの開催 ・こどもの日・夏休み・クリスマスリースづくりは継続実施、そのほか企業協賛日等イベント実施 ○子ども体験コーナーについて研究 ・須坂市民の日ありがとうございました。 ・キーホルダー作りが楽しかったです。

〔取組3-2〕 人が交流でき、憩える場とします

	基本目標に対する取組		令和6年度 主な事業・取組 / 目標値	令和6年度 達成値	自己評価	R6反省、R7改善点・取組方針等	令和7年度 主な事業・取組 / 目標値	《参考》利用者の声（R5アンケート等）
館職員等、来館者の交流の実現	○展示を観覧する、講座を受講するなどの受動的なあり方を転換し、来館者同士、あるいは来館者とボランティア・館職員が気軽に交流する場や機会を提供します。	総情	○来館者同士、来館者とボランティア・館職員の交流の場を提供する ・体験イベント等における来館者同士、来館者とボランティア・館職員の交流を促進する	・解説ボランティア 見学者に声をかけていただき解説を実施。61回実施し、15名が参加 ・体験ボランティア イベント時にプラ板づくりなど活動し、17名参加 ・作業ボランティア 従来の古文書等整理、木器保存処理、図書整理のボランティアに44名が参加	a	A		○来館者同士、来館者とボランティア・館職員の交流の場を提供する ・体験イベント等における来館者同士、来館者とボランティア・館職員の交流を促進する
憩える環境整備	○観覧の合間に休息できる空間や施設、そして自然環境を満喫して憩いの空間となる屋外展示を充実します。	総情	○屋外展示の充実 ・通路の整備、清掃 ・各時代別植栽の手入れ ・樹木別のキャプションの研究	・通路の整備、清掃、除草、及び枝払い作業を 総情課職員で2回おこなった ・枯死した柳の木を伐採した	a	A	柳の伐採を年度末業者手配により実施。樹木別キャプションの研究を進めた。	○屋外展示の充実 ・通路の整備、清掃 ・各時代別植栽の手入れ ・樹木別のキャプションの研究 ○屋外展示の活用促進 ・屋外のテラスも自然の風で歩きやすい。 ・緑も多く落ち着く場所だと思った。

〔取組3-3〕 県民が参加した館の運営を進めます

	基本目標に対する取組	担当部課	令和6年度 主な事業・取組 / 目標値	令和6年度 達成値	自己評価	R6反省、R7改善点・取組方針等	令和7年度 主な事業・取組 / 目標値	《参考》利用者の声（R5アンケート等）
学 活 習 用 の 会 の 史 的 な 資 料 成 主	○県民参加の歴史館運営の一環として、館蔵史資料を使った愛好会活動が行える環境を整えます。	文献	○古文書愛好会の育成と活動支援 ・参加者数 延べ500人	・参加者数 延べ 635人 館蔵文書を読む会8回開催 参加者39人（延べ269人） 古文書探訪会（上越市方面）参加者25人 古文書演習 夏季5回参加者25人（延べ74人）冬季18回参加者 29人（延べ233人）	a	A	○古文書愛好会の育成と活動支援 ・参加者数 延べ600人	・講演会と探訪会の内容が館蔵文書を読む会のテキストとして活用できてよかった（参加者）
		文献	・古文書解読文を1冊刊行	*古文書解読文「松前紀行漫録」刊行	a		・古文書解読文を1冊刊行	・難解であったが読みごたえがあった
ボ ラ ン テ ィ ア の 育 成	○展示案内、体験学習、史資料整理・保存などの館活動へ主体的に参加するボランティアを育成し、ともに活動します。	総情	○運営サポートボランティアの育成 ・展示解説・体験・作業ボランティアの募集・養成を行い、館運営への活用を推進	・歴史館HP、チラシ（当館設置）により募集 新規登録者17人 ・解説ボランティア 毎週日曜日と祝日、イベント時（全6回）に実施し14名参加 ・体験ボランティア「歴史館で子どもの日」「歴史館で夏休み」 企業協賛「KOAの日」にプラ板やどきmoドキづくり、クリスマスリースづくり、親子映画会に延べ25名参加 ・作業ボランティア382回 展示解説研修会に2名希望あり参加	a	A	解説内容の事前の確認を徹底する。	○運営サポートボランティアの育成 ・展示解説・体験・作業ボランティアの募集・養成を行い、館運営への活用を推進 ・解説ボランティアの方に良く説明していただき大変良かった。等（年間に10件以上アンケートあり）
館 の 運 営 利 用 者 の 意 見 を 反 映 し た	○館の運営に、アンケート等により寄せられた意見を反映させていきます。	総情	○利用者アンケートの活用 ・来館者アンケート意見の反映させる ・ホームページ問合せフォームによる意見募集 ・QRコード形式のアンケート導入	・常設展・企画展は記述式とQRコード形式のアンケートを実施。講演会は記述式を実施。春～秋季展時にシール式のアンケートを実施。冬季展からはアンケート形式を統一するため記述式とQRコード形式のみとした。 ・企画展によってはQRコード形式の効果があった。 ・アンケート方式の改善。夏季企画展のアンケート回収率19%（1013件、3226人）	a	A	アンケートに関してはQRコード方式がトレンドだが、当館の展示の内容、来館者の年齢層に沿って変化が認められ、対応を検討。	○利用者アンケートの活用 ・来館者アンケート意見の反映させる ・ホームページ問合せフォームによる意見募集 ・QRコード形式のアンケート導入

長野県立歴史館中長期目標(2020-2029年)に基づく令和6年度事業に係る実施状況・自己評価 及び 令和7年度事業に係る実施計画及び目標設定

評価の区分
A (a) 目標を上回る成果をあげた
B (b) ほぼ目標は達成した
C (c) 目標には及ばなかった
D (d) 目標には遠く及ばなかった

【基本目標 4】 県内全域での活動を推進し、地域に貢献する活動を進めます

[取組4-1] 県内全域の県民の生涯学習、子どもたちの歴史学習を支援します

基本目標に対する取組		令和6年度 主な事業・取組 / 目標値		令和6年度 達成値		自己評価	R6反省、R7改善点・取組方針等	令和7年度 主な事業・取組 / 目標値	《参考》利用者の声（R5アンケート等）
等 出 の 前 実 講 施 座	○歴史館から離れた地域の博物館等へ館職員が伺い、館主催の講座を開催します。 ○県内全域の博物館等からの依頼に応じ、講演会等を行うために職員を派遣します。	総情	○出前講座等の開催 ・「県立歴史館出前講座」として、箕輪町・大桑村・諏訪市・中川村と連携し講座を開催 満足度80%以上	○大桑村9名、諏訪市29名、箕輪町30名、中川村16名、合計84名の参加。 ○満足度82%	a	A	参加者増の工夫を開催市町村と協力して進めたい・	○出前講座等の開催 ・「県立歴史館出前講座」として、箕輪町・大桑村・諏訪市・中川村と連携し講座を開催 満足度80%以上	
	総情	・上記以外の出前講座 講師派遣依頼要請の90%以上実施	依頼要請に対する実施率100%実施	a	・上記以外の出前講座 講師派遣依頼要請の90%以上実施				
等 出 の 前 実 授 施 業	○歴史館から離れた地域の学校・公民館と連携し、館職員が貴重な史資料とともに赴いて授業を行います。 ○県内全域の学校（小・中・高校や大学等）からの依頼に応じて授業を行うために職員を派遣します。	総情	○お出かけ歴史館事業の実施 ・伊那・木曽地域に加え、諏訪地域も対象に追加 7回開催	・学校1校、公民館2館で実施。実施地域にて広報活動を行った。	c	C	春夏の長期休暇をターゲットにした広報を進めたい。	○お出かけ歴史館事業の実施 ・伊那・木曽地域に加え、諏訪地域も対象に追加	
	総情	○出前授業の実施 ・学校からの出前授業 要請の90%以上実施	・長野西、市立長野等で実施。要請の100%実施	a	A	○出前授業の実施 ・学校からの出前授業 要請の90%以上実施			

[取組4-2] 地域活性化につながる情報発信を進めます

	基本目標に対する取組		令和6年度 主な事業・取組 / 目標値	令和6年度 達成値	自己評価	R6反省、R7改善点・取組方針等	令和7年度 主な事業・取組 / 目標値	《参考》利用者の声（R5アンケート等）
つ 地 域 発 が 活 信 る 性 情 情 化 化 報 に 報 に	○積極的な情報発信による地域の活性化に寄与します。	総情	○地域の活性化に寄与する積極的な情報発信 ・R6開催予定の「所蔵品展 原始」につき、市町村職員と遺跡・遺物の学習会を実施する。	○「所蔵品展 原始」につき、市町村職員と遺跡・遺物の学習会を県内のブロック別に7回実施し、知見を広げることができた	a	A	○地域の活性化に寄与する積極的な情報発信	
		総情	・常設展・企画展における県内市町村所蔵資料等の借用・展示	○「所蔵品展 原始」に関わる必要な資料の借用は、100%実施できた。	a		・常設展・企画展における県内市町村所蔵資料等の借用・展示	

[取組4-3] 地域課題を捉えた調査研究を推進します

	基本目標に対する取組		令和6年度 主な事業・取組 / 目標値	令和6年度 達成値	自己評価	R6反省、R7改善点・取組方針等	令和7年度 主な事業・取組 / 目標値	《参考》利用者の声（R5アンケート等）
地 域 課 題 課 題 研 究 の 課	○県の関係部局、県内外の博物館等と連携して、地域課題・地域文化の調査・研究を行います。	総情	○歴史的水害を伝える史料の活用研究会への調査協力、連携 ・「歴史的水害を伝える史料の活用研究会」（山浦直人当館名誉学芸員が立ち上げた河川絵図を調査し活用する研究会）との連携・調査協力	・「歴史的水害を伝える史料の活用研究会」との連携を行い、「高瀬川の洪水絵図（池田町）」展示を行った。	a	C	○歴史的水害を伝える史料の活用研究会への調査協力、連携 ・「歴史的水害を伝える史料の活用研究会」（山浦直人当館名誉学芸員が立ち上げた河川絵図を調査し活用する研究会）との連携・調査協力	
		総情	・学芸員が中心となって立ち上げた河川絵図を調査し活用する研究会）との連携・調査協力	・実施なし	d			

【基本目標 5】 県内博物館・文書館の中核、歴史情報の拠点としての役割を充実させます

[取組5-1] 県内外諸機関との連携を進めます

	基本目標に対する取組		令和6年度 主な事業・取組 / 目標値	令和6年度 達成値	自己評価	R6反省、R7改善点・取組方針等	令和7年度 主な事業・取組 / 目標値	《参考》利用者の声（R5アンケート等）
県 内 外 の 連 携 博 物 館 等 と	○県内博物館・文書館等の中核として県内外の博物館等との連携を進め、史資料の収集・整理・保存及び調査・研究、情報共有等の活動を充実させます。	総情	○県内外博物館等との連携 ・R6開催予定の川中島の戦い展に向け群馬県立歴史博物館、山梨県考古博物館、新潟県立歴史博物館との連携推進	・長野県博物館等関係職員研修会を開催し、考古品（鉄製品・木製品）の処理・保存の実務、箱、軸の取り扱い方。参加人数52名参加。 ・山梨県博、新潟県博から企画展示の借用を行った。	a	A	○県内外博物館等との連携 ・群馬県立歴史博物館、山梨県考古博物館、新潟県立歴史博物館との連携協定に基づく連携の推進	
		総情 文献	○長野県博物館協議会、長野県史料保存活用協議会の運営 ・県博協HP運用、加盟館のイベントを発信 ・県史料協メールマガジンによる情報発信（6回）、県外流出文書の情報共有	・県博物館協議会HPを運営し、情報発信を行った。 ・県史料協メールマガジンを6回発行した。	a		○長野県博物館協議会、長野県史料保存活用協議会の運営 ・県博協HP運用、加盟館のイベントを発信 ・県史料協メールマガジンによる情報発信（6回）、県外流出文書の情報共有 ○県美との連携を考える	
県 内 と 外 の 連 携 機 関 等	○県の関係部局はもちろんのこと、県内外の関係諸機関と連携して活動します。	総情 考古	・近世史セミナー（信濃史学会 信州近世史セミナー共催）1回 ・考古学セミナー（長野県考古学会との共催）1回	・近世史セミナー：12/7開催 受講者77人 ・考古学セミナー：3回開催 ①6/1遺跡報告会：受講者69人、満足度100% ②9/21旧石器講座遺跡報告会：受講者47人、満足度100% ③2/11縄文講座遺跡報告会：受講者79人、満足度100%	a	A	・近世史セミナー（信濃史学会 信州近世史セミナー共催）1回 ・考古学セミナー（長野県考古学会との共催）2回程度	考古学セミナー ・県考古学会等と共催で旧石器講座、縄文講座も開催し、好評を得た。弥生時代以降も継続開催の予定
		総情	・歴史館企業協賛の日 年2回開催	・「K O Aの日」：1/18開催（無料公開）入館者（常設）229人（企画展）304人、イベント237人参加	a		・歴史館企業協賛の日 年1回開催	
		総情	・須坂市との連携協定の一環として「須坂市民の日」（11/23）を設定し、須坂関係史料の特別公開、市民向けの施設案内などを実施する。	・「須坂市民の日」（11/23）を設定し、須坂市に関する展示、解説ボランティアによる市民向けの施設案内などを実施 須坂市民106人来館	a		・須坂市との連携協定の一環として「須坂市民の日」（11/8）を設定し、須坂関係史料の特別公開、市民向けの施設案内などを実施する。	
		総情・考古・文献	○歴史情報の積極的な収集、集約 ・資料調査員からの県内市町村資料情報の収集100件	・資料調査員から情報収集 HPで公開 県内市町村史資料情報62件 刊行物9件 歴史情報88件	a		○歴史情報の積極的な収集、集約 ・資料調査員からの県内市町村資料情報の収集100件	
史 県 情 情 報 報 外 外 の の 収 収 入 入 の の 歴 歴 史 史	歴史情報(県内市町村資料情報、県内外歴史雑誌等情報)を収集し集約します。	総情	・県内外歴史雑誌等の収集及び掲載内容の閲覧システムへの90%以上登録	・県内外歴史関係雑誌750冊収集、掲載内容を閲覧システムへの100%登録	a	A	・県内外歴史雑誌等の収集及び掲載内容の閲覧システムへの90%以上登録	

長野県立歴史館中長期目標(2020-2029年)に基づく
令和6年度事業に係る実施状況・自己評価 及び 令和7年度事業に係る実施計画及び目標設定

評価の区分
A (a) 目標を上回る成果をあげた
B (b) ほぼ目標は達成した
C (c) 目標には及ばなかった
D (d) 目標には遠く及ばなかった

【取組5-2】 県内歴史情報のデータベース化・デジタルアーカイブを推進します

	基本目標に対する取組		令和6年度 主な事業・取組 / 目標値	令和6年度 達成値	自己評価	R6反省、R7改善点・取組方針等	令和7年度 主な事業・取組 / 目標値	《参考》利用者の声（R5アンケート等）
県内歴史情報データベース化	○集約した県内の歴史情報をデータベース化し、関係機関と共有します。	総情 考古 文献	○集約した県内歴史情報のデータベース化、共有化・資料調査員からの市町村資料情報をデータベース化	・資料調査員から収集した県内市町村史資料情報6 62件 刊行物9件 歴史情報88件を公開。	a	A	○集約した県内歴史情報のデータベース化、共有化・資料調査員からの市町村資料情報をデータベース化	
県内歴史情報アーカイブ化の推進	○データベース化した県内の歴史情報のデジタル化を進め、デジタル・アーカイブにまとめます。	総情 考古 文献	○データベース化した歴史情報のデジタル・アーカイブ作成 ・館内史資料のデジタル化を進め、デジタル・アーカイブとしてまとめる。 ・マイクロ撮影は予算の範囲内でできる件数をすすめる。	・考古資料：発掘調査関係写真のデジタル化 3000枚 ・文献史料：収集古文書のマイクロフィルム情報のPDF化1180件	a	A	・考古資料のデータベース化・デジタルアーカイブの推進 ・デジタル化したデータの公開方法について検討推進	○データベース化した歴史情報のデジタル・アーカイブ作成 ・館内史資料のデジタル化を進め、デジタル・アーカイブとしてまとめる
情報を活用し、ネット提供	○データベース化、デジタル化した県内の歴史情報をインターネットを活用して提供します。	総情	○ホームページなどによるデータベース・デジタルアーカイブの提供 ・デジタルアーカイブページの表示改善	・データベース・デジタルアーカイブの順調な運用ができた	a	A	○ホームページなどによるデータベース・デジタルアーカイブの提供 ・デジタルアーカイブページの表示改善	
		総情	・ホームページ内デジタルアーカイブ利用数の増加（前年比100%以上）	・デジタルアーカイブページアクセス数76,738件（2月末現在 R5年度67,938件 前年度比112%）	a		・ホームページ内デジタルアーカイブ利用数の増加（前年比100%以上）	

【基本目標6】 来館者及び職員の安全・安心を第一とした館運営を行います

	基本目標に対する取組		令和6年度 主な事業・取組 / 目標値	令和6年度 達成値	自己評価	R6反省、R7改善点・取組方針等	令和7年度 主な事業・取組 / 目標値	《参考》利用者の声（R5アンケート等）
	社会情勢に応じ、来館者及び職員の安全・安心の確保に努めます。		○安全管理の実施 ・最新の情報収集、状況変化に応じた対応策の検討など、安全管理のマネジメントを適切に行う。	・臨機応変に安全対策を行った。	a	A		

【基本目標7】 館の将来を見据え、魅力度向上を図るための新たな取組を推進します

	基本目標に対する取組		令和6年度 主な事業・取組 / 目標値	令和6年度 達成値	自己評価	R6反省、R7改善点・取組方針等	令和7年度 主な事業・取組 / 目標値	《参考》利用者の声（R5アンケート等）
	県立歴史館のリニューアルに向けた検討を進めます。	学芸部 管理部	○県立歴史館リニューアルの方策案の検討・とりまとめ ・施設・設備の長寿命化の実施に向け、具体的な施設の現状把握及び対応策検討を進める。（R8県ファシリティマネジメント基本計画見直しを目的に、その個別計画への掲載を目指す。） ・常設展示の現状と課題、リニューアルの考え方・イメージの集約を行う。 ・文化振興課と課題の共有を図る。	・企画展示室の空調の調査・設計費を予算化	a	A	○県立歴史館リニューアルの方策案の検討・とりまとめ ・施設・設備の長寿命化の実施に向け、具体的な施設の現状把握及び対応策検討を進める。（R8県ファシリティマネジメント基本計画見直しを目的に、その個別計画への掲載を目指す。） ・常設展示の現状と課題、リニューアルの考え方・イメージの集約を行う。 ・文化振興課と課題の共有を図る。	
	博物館機能強化のための独自の対応を実践します。		○博物館機能向上の取組の充実 学芸員チームを効果的に活用し、館の課題の検討・解決に取り組む、魅力ある博物館の構築に努める	・燻蒸処理の今後について学芸員の専門的見地から解決策や考え方を提示した	a	A		
	県民歴史館の事業をご活用いただく取組を推進します		○館のアウトリーチ活動の一環として、館で提供可能なメニューを情報提供・発信し、県民や市町村等を支援する取組を積極的に推進する。	・館で提供可能な支援メニュー（講演・講座、古文書受入れ、資料化学分析、地域展示・博物館支援）に対応した。	a	A		